



3月定例会

人、自然、  
科学を結ぶ  
学研都市精華町

# せいか 議会だより

No.132

2011年5月1日発行

- 予算の特徴・本会議「白熱の議論」…… 2ページ
- 各議案の概要と表決結果 …… 4ページ
- 常任委員会報告 …… 6ページ
- 町長の施政方針を問う（会派代表質問）…… 9ページ
- ここが聞きたい（一般質問）… 12ページ
- 広域議会・閉会中委員会活動・研修報告など … 20ページ
- その後を追う（農業活性化・企業誘致・ワクチン予防接種）… 22ページ
- 街をつくる人<sup>53</sup>（精華中学校コミュニティ協議会）… 23ページ
- ギャラリー華（星の光幼稚園の園児の作品）… 24ページ



植田児童公園



山田川



けいはんな公園



鳥谷公園

町内のさくら

# 輝くまちづくり



3月定例会

## 本会議

3月2日から29日までの28日間、23年度一般会計予算132億2千万円と8特別会計予算計84億5千万円、補正予算5件、条例の制定・一部改正など23件が提案され、いずれも十分な審議の上、可決されました。国保病院事業特別会計予算、町長等の給与特例条例一部改正について、計3件の修正案が議員から提案されましたが、賛成少数で否決となりました。

その他、4件の議員提案がされましたが、「情報公開条例一部改正」が賛成多数で可決されました。（詳細は、P4～5頁の「各議案の概要と表決結果」をご覧ください）

### 23年度予算の方針(要約)

①暮らしを守り希望が輝くまちづくり

本年度においても、これまで本町が積み重ねてきたきめ細やかな福祉サービスや、扶助費を中心とする社会保障関係経費について、現在の給付水準を維持する。小学校卒業までの医療費無料化は、行財政改革の還元として継続する。負担については、一部、国保税の限度額の見直しは行いが、その他、各種料金は据え置く。水道料金は、府営水道の料金引き下げを受け、基本料

### ②将来への投資を怠らないまちづくり

金を引き下げる。国保病院については、地域の高齢者医療の受け皿としてふさわしく良質な医療環境施設の整備に努める。保育所の入所待機児童ゼロ施策を堅持し、統合保育所を8月に開所すべく準備する。

小中学校への空調設備の導入を3カ年計画で実施する。精華中学校は、一定の期間を要するが、財源確保に努めながら、全面改築の方針でとりくみを始める。一方、2カ年計画で「総合計画」の改定を行い、中長期のまち

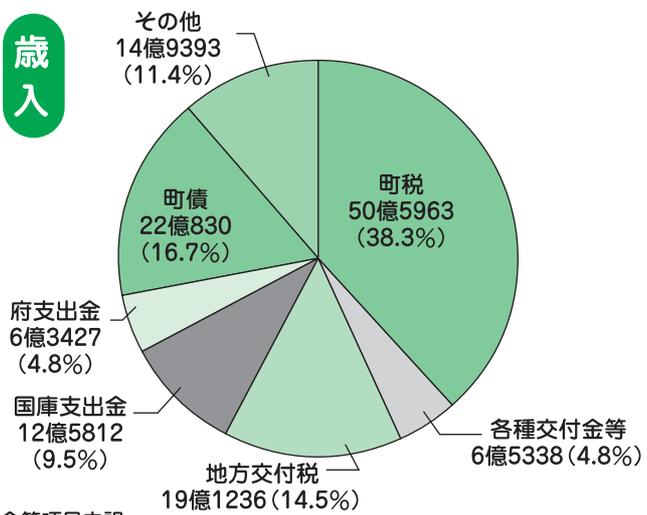
### ③学研都市を活用したまちづくり

づくり指針を描く。引き続き、「けいはんな学研都市活性化促進協議会」のとりくみに参加し、魅力ある学研都市ブランドの確立につなげる。近隣市や府と連携して、学研狛田地区を活用した産業振興について調査を進めるとともに、整備の促進に努める。さらには、国道163号や府道山手幹線の整備促進に努めるとともに、精華台5丁目の環境共生住宅整備への対応、町施工の狛田駅東特定土地区画整理事業の推進を図る。

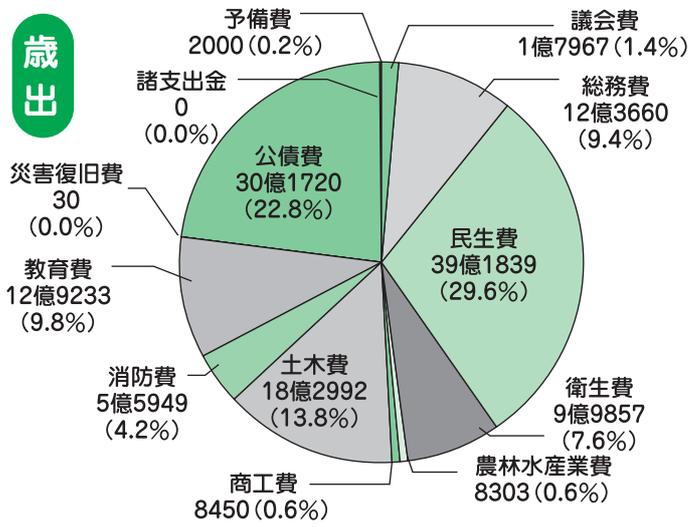
## 平成23年度 一般会計 総額 132億2千万円

(単位:万円)

### 歳入



### 歳出



合算項目内訳  
 ●各種交付金等：地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、国有提供施設等所存市町村助成交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金  
 ●その他：分担金及び負担金、使用料及び手数料、財産収入、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入

# 暮らしを守り希望が

## 白熱の議論

《議員提案》

議員報酬特例条例一部改正

《概要》

10%削減の期限を、これまでの平成23年3月31日からさらに25年3月31日まで延期するもの。

■ 反対討論

削減の必要はない。委員会活動や議会報告会など活発化している。また、本町の報酬額は同一規模の団体と比較しても低く、住民からも「低い」という声がある。

□ 賛成討論

財政的にも減収状況であり、経済的にも向上していない。議員報酬は25年度までは今まで通りにして、根本から見直す議論が必要だ。  
【賛成4 反対17  
賛成少数否決】

情報公開条例一部改正

《概要》

情報公開の請求者を、従来の「町民」から「何人（なんびと）も」に拡大するもの。

■ 反対討論

個人情報には十分注意しなければならぬ。

□ 賛成討論

個人情報については全く関係ない。「何人にも」情報公開されるのは当然のことである。

【賛成11 反対10  
賛成多数可決】

《意見書提案》

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書

《概要》

国の「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」は、国や自治体の公的責任を後退

させるものであり、同システムの早急な実施を見合わせ、保育制度の拡充を求めるもの。

■ 反対討論

時期尚早である。クリアすべき点はあるが、同システムによる多様な子育て支援サービスは高く評価できる。

□ 賛成討論

子どもは家庭の経済的条件に関係なく、等しくサービスを受けられなければならない。私的契約、市場原理で公的責任が軽くなるのは問題だ。

【賛成4 反対17  
賛成少数否決】

《陳情・要望》

大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める陳情

《概要》

医療労働者の労働条件の改善、医療・社会保障予算の増額、患者・利用者負担の軽減などを求めるもの。

【賛成4 反対17  
賛成少数不採択】

聴覚言語障害者支援についての統一要望書

《概要》

聴覚障害者の福祉制度や施設の拡充、人材養成などを求めるもの。  
【賛成5 反対16  
賛成少数不採択】

聴覚言語障害者福祉の向上に係る要望書

《概要》

聴覚言語障害者の地域生活支援事業などを求めるもの。

《委員長報告に  
対する質疑》

問 要望書の一部は予算に含まれている。予算に賛成しながら要望書に反対するのは矛盾する。部分採択ならば理解できるが、どうか。  
答 予算に含まれているのは承知しているが、委員会の採決の結果である。

【(再付託動議)  
賛成16 反対5】

23年度一般会計予算

賛成多数可決

□ 賛成討論

小学校卒業までの医療費無料化の継続、小中学校への空調設備の導入などの努力の反映した予算に賛成する。今後の課題として、①中学校校舎や消防庁舎の早期耐震改修②厳しい経済状況の中で、地域循環経済の構築と福祉の充実③同和事業の完全終結やカラ水の見直し、を強く求める。  
【全員一致可決】

23年度国保病院事業特別会計予算

《修正案の提案》  
指定管理者に対する



貸付金1億円を5千万円に減額するもの。

【修正案】賛成4反対17賛成少数否決

【原案】賛成16反対5賛成多数可決

町長及び副町長の給与特例条例一部改正

《修正案の提案》

町長10%、副町長7%の報酬月額削減期限を、原案の「平成23年10月23日」を「平成24年度3月31日」に改めるもの。

【問】①なぜ期限を1年間とするのか②議員についてはどう考えるのか③一般質問での30%削減との関係は。

【答】①年度末だから②議員は関係ない③30%削減は個人的見解である。

【修正案】賛成4反対17賛成少数否決

【原案】賛成17反対4賛成多数可決

教育委員会教育長の給与特例条例一部改正

《修正案の提案》

前記の町長・副町長の給与特例条例と同様に、7%削減の期限を「平成24年3月31日」に改めるもの。

【修正案】賛成4反対17賛成少数否決

【原案】賛成17反対4賛成多数可決

国民健康保険税条例一部改正

《概要》

最高限度額を①国保税基礎課税額を47万円から50万円に②後期高齢者支援金等課税額を12万円から13万円に③介護納付金課税額を9万円から10万円に、それぞれ引き上げるもの。

■ 反対討論

最高限度額に近接する世帯は、家族数が多ければ必ずしも高額所得者とはいえないので、これらの世帯に負担をもちたらず引上げには反対である。

【賛成17反対4賛成多数可決】

各議案の概要と表決結果

類別	議案(概要)	結果	愛精会	精政会	共産党	住民派	民主改	公明党	
	委員会条例一部改正(町組織の再編に伴う委員会の整備)	可決	○	○	○	○	○	○	
	議員報酬特例条例一部改正(報酬1割削減を2年間継続)	否決	●	●	○	●	●	●	
議員提案	情報公開条例一部改正(「何人も請求できる」とするもの)	可決	●	○	○	●	○	●	
	東日本大震災に関する意見書(原発事故対策など)	否決	●	●	○	●	●	●	
要望書	「子ども・子育て新システムの基本制度要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書	否決	●	●	○	●	●	●	
	大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護を求める聴覚言語障害者支援についての統一要望書	否決	●	△※1	○	●	●	●	
	聴覚言語障害者福祉の向上に係る要望書	再付託	○	○	○	●	○	●	
補正予算	(単位:万円)	補正額	主要内容						
	一般会計	△8536	基金積立等	可決	○	○	○	○	
	後期高齢者医療特別会計	323	経費追加	可決	○	○	○	○	
	介護保険特別会計	0	組替え補正	可決	○	○	○	○	
	介護サービス特別会計	0	組替え補正	可決	○	○	○	○	
	公共下水道特別会計	△200	雨水事業費の減	可決	○	○	○	○	
23年度予算	(単位:万円)	予算額	前年度比較						
	一般会計	132億2000	5億9000	可決	○	○	○	○	
	特別会計	国民健康保険事業	27億7029	2103	可決	○	○	○	○
		後期高齢者医療事業	2億6564	△105	可決	○	○	○	○
		介護保険事業	19億4423	2億9259	可決	○	○	○	○
		国民健康保険病院事業	1億9272	2182	可決	○	△※2	○	●
			修正案(医仁会への貸付金を1億円から5千万円に減額する)			否決	●	△※3	●
		介護サービス事業	2534	△298	可決	○	○	○	○
		簡易水道事業	2310	1103	可決	○	○	○	○
		水道事業	14億9391	△6億3145	可決	○	○	○	○
公共下水道事業	17億3021	△1億735	可決	○	○	○	○		



# 常任委員会報告

## 予算決算

### 22年度補正予算

#### 一般会計

##### 【総務費】

**問** 時間外勤務手当の増額の理由は。

**答** 国政選挙二回分、国民文化祭のプレイベント、環境条例、まちをきれいにする条例などの事務処理で増えた。

**問** 町民税、法人税の収収の分析は。

**答** リーマンショックで大きく減額になったが復調の兆しが見える。

**問** 臨時財政対策債が12月に減額補正し、今回は増額補正されたが変動の理由は。

**答** 22年度の執行予定状況を精査し、基金の積立から判断した。

##### 【教育費】

**問** 小・中学校の図書

情報システム整備事業の進捗は。

**答** 12月補正で可決後、1月にパソコン本体を発注し3月に配置。その後システムをソフトウェア者に発注し、ゴールデンウィーク明けには稼働の予定。

**問** 体育施設整備事業の進捗は。

**答** スポーツ広場の実施設計、工事費を3月に発注し、7月末に完成予定。

##### 【土木費】

**問** 舟・滝の鼻線の川原橋の橋脚の増額は。

**答** 工事期間が出水期と重なるため一千万円を増額した。

#### 【全員一致可決】

#### 特別会計

##### 【介護保険事業】

**問** 介護保険事業の交付金の減額理由は。

**答** 所得水準が高いので、当町は1・38%減

額される。

**問** 財政安定化基金の仕組みは。

**答** 国、府、町がそれぞれ3分の1積み立てている基金で、20年度現在で府は約62億円がプールされ、残高運用は約3%位の活用がされている。

#### 【全員一致可決】

### 23年度予算

#### 一般会計

##### 【議会費】

**問** 中継設備の改修は、寿命がきているので、検討する。

##### 震災対策は？

##### 【総務・出納費】

**問** 広報誌などへの有料広告の掲載は。

**答** 刊行物には増やすよう検討する。

**問** 環境に配慮した公用車の利用は。

**答** 公用車の利用を減



らし、自転車の利用を推進している。

**問** 休日の公用車の貸出し事業は可能か。

**答** 活動の目的や事故を考えると難しい。

**問** 東北の地震が起こり、より節約した予算運営が必要と考えるが。

**答** 今後、予算のあり方を検討する。

**問** 庁舎、敷地などの使用基準は。

**答** 公益を有するから判断し、わかりやすく使用基準を整理する。

**問** KES（環境マネジメントシステム）の結果公表は。

**答** 電気・ガス・水道など6項目を公表する。



**問** 総合計画の策定など、職員で策定できないのか。

**答** 委託と自力で行う場合（職員の育成も含め）と比較をしている。

**問** 自転車利用者の安全対策は。

**答** 警察と連携し、危険箇所を把握し対応している。

**問** 監査事務局の設置は。また、議員監査員の報酬は、議員報酬もあるのでは。

**答** 総務課の中で独立性を確保しながら行っている。報酬は、報酬審議会で決められている。

**問** 基地交付金は少ないのでは。

**答** 増額を要望してい

るが、本庁の場合、財政事情の配分はない。別途、防衛省から4千万円ほどの調整交付金がある。

##### 【消防費】

**問** 女子隊員への配慮は。

**答** シャワーなど福利厚生面で配慮している。

**問** 消防庁舎の耐震性の問題は。

**答** 国の指示は教育施設優先で、補助金もなく耐震診断は行っていない。財政上の問題はあるが、改築の方向で進めている。

**問** 消防団査閲事業は何故、今年やるのか。

**答** 10年に一度、意識を高めるために職務遂行に必要な訓練を行う。

#### 住民福祉の向上は

##### 【民生費】

**問** 地域福祉補助金の配分は。

**答** 新たに検討し協議会を立ち上げたい。

**問** かのき苑の利用計画の再構築は。

**答** 備品などを含めて利用活用を見直す。

**問** 病児保育事業の展開は。

**答** 要件緩和で利用拡大する。

**問** ほうその統合保育所の4月開所予定の工期が遅れた原因は。

**答** 手続き上3か月遅れた。

**問** あすなる会が地域食育活動しているが、住民に周知できているか。

**答** 会と調整し周知徹底をお願いする。

**問** 各種検診の受診率が向上できない原因は。

**答** アンケートを含め原因追究していく。

**問** 共同浴場廃止までの検討課題は。

**答** 風呂の所有調査、助成制度など祝園支部、東区と検討している。

**問** 古紙回収事業の見直しの考えは。

**答** 交付条件要項を再度見直す。

**問** 農業用水質汚染状況は。

**答** 生活排水流入調査を12項目行っている。

**問** 粗大ゴミ清掃費の住民負担は考えているか。

**答** 考えていない。

**問** ペットボトルキャップ回収事業の考えは。

**答** 福祉課で取り組んでいる。

**問** 発達障害児早期発見の今後の事業展開は。

**答** 要望がある幼・保育園から調査する。

**【産業振興費】**

**問** 華工房の使用目的や販売ルートの適切な運営管理を。

**答** 特産開発連絡協議会で情報交換をしている。

**問** 調査して指導する。

**問** 学校給食を地元産100%に。多くの生産者へ出荷要請を。

**答** 調理員、生産者双方の意見交換の中で取り組む。

**問** ブランド認定野菜の基準は。消費者への周知は。

**答** 有機、減農薬基準に基づき付加価値を付ける。今後、関係者の意見を聞き、具体的につめていく。

**問** 里山保全地域の安全確保は。住民にわかりやすい表示を。

**答** 整地し柵を設置している。案内看板などの設置を検討する。

**問** 町独自の消費者啓



発講座が廃止。内容の充実と参加しやすい環境の工夫を求める。

**答** 相楽会館での事業の継続を府に要望する。

**【土木費】**

**問** 府、国道連絡負担金の減額理由は。必要性を精査し適正水準の維持を。

**答** 規約改定により減額。計画達成後は検討する。

**問** 祝園中地区整備について町の意向は。

**答** 町はサポート的立場で、地権者の意向を含め町の玄関口としてのまちづくりを提示する。

**問** 電子入札の取り組み状況は。

**答** 23年秋実施予定。職員が技術取得する時間が必要。公表は府を

**学校図書の実況を**

参考にする。

**【教育費】**

**問** 図書館司書の緊急雇用終了後の対応は。

**答** 24年以降は、効果実績をふまえて配置を検討する。

**問** 教育委員会会議録、管外研修報告の情報公開の充実を。

**答** 住民にわかりやすい情報提供のあり方を検討する。

**問** 学校図書蔵書率の向上に計画的な数値目標を。

**答** データベース化で蔵書冊数が明確になる。その後検討する。

**問** 私立幼稚園の要支援児への支援を。

**答** 保護者の理解と幼稚園の意向も受け協議する。

**問** 他の文化サークルとの公平性から、行政主導の少年少女合唱団の自立に向けて検討すべきでは。

**答** 保護者の理解のものと町に大きく貢献。専門的な指導も必要。4年目を迎え役割、あり方を十分協議する。

**問** 子ども健全育成には読書は重要。移動図書館を各小学校に積極的に巡回すべき。

**答** 新年度から要望のある小学校に巡回する。

**問** 雑誌購入の財源確保の観点からオーナー制度を研究されたか。

**答** 調査し検討する。

**問** むくのぎトレイニングルームの機器購入での利用率向上は。

**答** 機器を計画的に更新・相談室の充実など住民の啓発に努める。

**【全員一致可決】**

**特別会計**

**【国民健康保険事業】**

**問** 被保険者の負担金の考えは。

**答** 国保税負担で考えている。

**【全員一致可決】**

**【国民健康保険病院事業】**

**問** 指定管理者から22年の黒字見込の報告は受けているか。

**答** 3〜4000万円の黒字を見込んでいます。

**問** 経営が安定してきているのに1億円を金利0・27%で貸付けている。減額の検討をしていますか。

**答** 指定管理者が経営安定していないので続ける。

**【賛成多数可決】**

**【修正動議提案】**

病院経営が安定している中、赤字から黒字に転換できているので、第4条中「1億円」を「5千万円」に改める。

**問** なぜ5千万円か。

**答** 黒字幅とあわせる。本来なら削除すべきだと考えている。

**【賛成少数否決】**

**【簡易水道事業】**

**問** 上水道事業との統合に向けた進捗状況は。

**答** 財政当局や府と協議を進めている。

**【全員一致可決】**

**【水道事業】**

**問** 若手の人材育成で安定運営を。

**答** 経営技能の人材育成に努めている。

**問** 府営水費引き下げは府の一般会計からの借り入れ予算となつていない、府民への影響は。

**答** 府の企業会計で実施と聞いている。安定運営を要望していく。

**【全員一致可決】**

# 総務教育

## 〔条例改正〕

### 固定資産評価審査委員会条例等一部改正

関係法令等改正・廃止に伴い、条項、名称用語等を引用する規定の整合を図るもの（合計7条例）。

**問** 条例審議会は開催されていない。不必要では。また、審議項目を明確に。

**答** 10年で全て見直しをしている。昭和50年当時のものであり、現状に見合った条例を提案する。

【全員一致可決】

### 監査委員条例一部改正

監査事務手続きに時間を要するために審査期間を60日にするもの。

**問** 変更理由とスケジュールは。

**答** 100億円を超える取扱いで決算審議に時間を要する。9月議会の決算審議前には処理できる。

理できる。

【全員一致可決】

### 町長及び副町長の給与の一部改正

町長10%、副町長7%の減額を町長の任期期間中減額するもの。

■ 反対討論

任期期間中の10月23日はおかし。年度末まで減額すべきである。

□ 賛成討論

10%、7%のカットに賛成する。

【賛成多数可決】

【請願・要望】

### 私立幼稚園への補助金増額要望

（継続審議中）

私立幼稚園の保護者園への補助金の増額などを要望するもの。

**問** 現地調査を実施し、さらに詳しい資料を求めたが、資料の提供は。まだ提供がない。

**答** まだ提供がない。

【継続審議】

# 民生環境

### 国民健康保険条例の一部改正

法施行令の改正に伴う条例の改正をするもの。

**問** 最高限度額に近い層にとつては問題がある。

**答** 法改正によるものであり、シミュレーションもやっている。

■ 反対討論

一部世帯の負担が大きくなることから、一般会計より繰り入れすべき。

□ 賛成討論

一般会計の財政状況も厳しく、繰り入れすべきでない。

【賛成多数可決】

### 環境基本条例制定

環境保全のため、町民・事業者の責務などを定めたもの。

**問** 環境基本計画が既

に策定されているが、環境基本条例が後では順番が逆である。

**答** 計画と条例は並行して進めてきて、2月に計画を策定した。

**問** 環境推進委員の報酬は設けず、交通費や清掃道具などを考えてはどうか。

**答** 町の付属機関であり、報酬の支払い対象となる。

**問** 住民の責務を有する条例なので、多くの住民の意見を集約した中で、周知啓発するべきである。

**答** パブリックコメントも実施した。

■ 反対討論

住民に責務を課す以上は住民の意見をもっと聞くべき。

□ 賛成討論

行政挙げて取組むという覚悟が示されたので賛成する。

【賛成多数可決】

### まちをきれいにする条例制定

環境基本条例に基づ

き、住民等のモラル向上と環境美化思想の普及を図り、住みよいまちづくりを定めるもの。

**問** 罰則を設けた他自治体の状況はどうか。

**答** 条例を設けた近隣市町の発動はない。指導する際に暴力行為や取り締まりへの苦情があったと聞いている。

**問** 抑止力を強化するための罰則規定を考えたのか。

**答** 1年後を目途に、検証する中で、検討する。

条例を施行すれば職員負担も増加し、住民も疑心暗鬼となる。啓発活動でまちづくりすべき。

■ 反対討論

町民、議会、行政が様々な要望をもとに検討した案である。一年を目途に検証し罰則規定を検討することで賛成。

□ 賛成討論

本町の農業関係団体の取り組みは。

**問** 農業者は農業者に反対署名の活動を行っている。900名程集まった。またJAは別活動している。

**答** 農業者は農業者に反対署名の活動を行っている。900名程集まった。またJAは別活動している。

【継続審議】

# 建設産業

### 水道事業給水条例の一部改正

水道料金が今回値下げになった。三水系の料金の平準化は進むのか。

**答** 基本料金のウェイトが大きいので府に軽減策を要望する。4年前から値下げを要請し、今回府が決断したことは、評価する。府下で一番安くなった。

### TPP参加反対の請願

町の取り組みは。情報収集を行って

**問** 町民、議会、行政が様々な要望をもとに検討した案である。一年を目途に検証し罰則規定を検討することで賛成。

**答** 農業者は農業者に反対署名の活動を行っている。900名程集まった。またJAは別活動している。

【継続審議】

愛精会

和田貴美子 議員

Q 第三者評価システムの導入を

A 可能な限り自助努力する

Q 「普通地方交付税の不足額が、全額交付される見込みもなく、地方債を借り入れるようにとの要請が強まっている」との基本認識が示された。債務残高は21年度約227億円。16年度から約90億円の減となったことは評価する。他方、基金残高は21年度33億円。16年度から約25億円減少している。議会の機能を強化することは当然

の責務である。自立可能な行財政確立のため第三者評価システムの導入を。  
 A 自助努力の範囲を超える歳出削減に迫られ、不本意にも住民サービスに手を付ける事態に直面した時は、補充として、第三者評価を位置づける。  
 Q 23年度要望事項より南中学校区にコミュニティセンター設置を。  
 A 基本構想を策定し、

財源確保に努める。  
 Q 町所有の遊休地の売却、有効活用を。  
 A 条件が整いしだいで実施する。  
 Q ①小・中学校教室にエアコン設置、②精華中学校早期建て替えを。  
 A ①23年度から3ヶ年で設置、②財源確保し、早期改築に努める。

環境行政についても質問しました。



町所有地の売却を

# 会派代表質問

## 町長の施政方針を問う

### 6 会派が質問

※質問者順に掲載しています。

※    は、本文以外の質問事項です。

日本共産党

佐々木雅彦 議員

Q 祝園弾薬庫の認識は

A 学研都市にはふさわしくない

Q 格差拡大の原因は、ゆきすぎた市場原理主義と認識する。

A 学研都市の総投資額と波及効果は、まだ、「文化」が実感できない段階だ。

Q 町予算では、約900億円。総投資額は把握していない。可能な限り文化都市が実感でき、生涯学習につなげるよう努める。

A 観光政策と交通体系の充実が必要だ。商業集積や農業振興などに取り組む。京阪奈新線延伸、JR複線化を要望する。

Q 総合計画の改定作業に、住民参加の促進を。

A そう考えている。

Q 少人数学級や校舎のバリアフリー化を。

A 精華中学も建替える方針で、バリアフリー化する。個に応じた

きめ細やかな教育方式を検討する。

Q 祝園弾薬庫の役割低下を認識するのか。

A 学研都市にはふさわしくないと認識する。

Q 戦争経験者の語り部記録を進めるべき。

A 協賛団体と相談して進める。

Q 核廃絶交渉開始の国際署名はするのか。

A 求められればする。



学研都市にふさわしくない基地

精政会

奥野 卓士 議員

Q 町長、3期日も続投か

A 課題解決のため、精一杯努力する



3期目の課題は

Q 今年10月、町長の改選を迎えるが、3期目続投の意志を伺う。

A 自らに課せられている使命の重さを噛み締めながら、課題解決に精一杯、無我夢中で努力する。

Q 学研都市を活用し、今後も積極的に企業誘致を進めつつ、安定した財源確保策として、町の裁量で都市計画税

を市街化区域同様、市街化調整区域内で土地利用されている所にも賦課できないか。

A 都市計画税の課税のあり方は、今後も課題として研究していく。

Q 水道料金の値下げは水道料金の基本料が4月以降11円引下げられるが、利用者の立場から水道料金の具体的な考えは。

A 一般家庭の軽減を

「新しい公」の取り組みは「まちづくり戦略の重要性」で、市民活動の「新しい公」の位置付けと取り組みは、基本的な方向性が広域的な住民自治組織の形成であり、総合計画の改定を契機に議論を深めたい。

民主改革クラブ

神田 育男 議員

Q 中学校に学校給食の導入を

A 家庭での手作り弁当が基本

Q 成長盛りの生徒に栄養バランスのとれた学校給食が必要。自治体の財力によって学校給食に格差があつてはならない。学校給食法（食育の推進・義務教育の給食の設置義務）を尊重して早急に取り入れるべき。農産物の地産地消にも貢献する。

A 教育行政の中で判断していただき、決定事項によって予算処置をする。  
 Q システムの導入を多面的で公平な評価制度が職員のやる気を喚起し潜在的な能力を引き出す。頑張る人が報われる公平な制度の導入を。  
 A 職員の努力する姿勢と熱意で評価している。

Q 財政の健全化計画を災害などイザというときのための基金残高が激減している。①人件費の削減計画②民間活力の導入計画を問う。  
 A ①非常勤職員や臨時職員の効果的な活用と人事院勧告に準拠している。②指定管理者制度の導入と、業務の民間委託の推進も積極的に進める。



いつまで続くあっせん弁当

住民派の会

村尾 礼示 議員

Q しごと館の活用と構想は

A 戦略総合特区の推進をする



早期活用が望まれる私のしごと館

Q 私のしごと館売却は2度とも応募がなかったが、京都市が学研都市を総合特区とする構想があり大いに期待する。閉館後の活用と特区の推進は。  
 A 昨年9月京都市が国に、学研都市を環境・エネルギーを、食糧・バイオなど、世界的な問題解決のための研究開発拠点とするよう「けいはんな学研都市国際戦略総合特区」を提案している。その

中で、私のしごと館を「オーブン・イノベーション」拠点とする活用策がある。今後の動向を注視していきたい。  
 Q 地域住民の活動拠点を住民の健康づくり、地域福祉への取り組みからも、南部地区（桜が丘地区）に、地域コミュニティ活動の拠点となる施設の充実を。  
 A 急速な少子高齢化により「地域力」強化が期待されるなか、住民の地域の福祉活動へ

の支援が重要である。すでに、高齢者サロンの取組みなど進展も見られるが、今後は、広域的なコミュニティ活動の拠点施設について、地域住民の参画による基本構想の策定と、整備に向けた財源確保に努める。  
 営農への支援策、小・中学校の環境整備、教科書の採択方針、高齢者の福祉支援策などについて質問しました。

公明党

今方 晴美 議員

# 一般質問

# ことが聞きたい!

1問

1答

15人の議員が  
質問しました。

※質問者順に掲載しています。

※    は、本文以外の質問事項です。

Q 「精華町読書の日」の創設を

A 読書機運の盛り上げと環境整備を進めるため検討する



ボランティアによる読みきかせ（東光小、図書館）

**教育行政の更なる充実**  
**Q** ①学校専任司書の増員を。②蔵書基準達成のための年次計画の策定を。  
**A** ①配置の継続に努める。②計画的に質・量の一層の充実を図る。  
**Q** ①がん教育の方向性は。②啓発の取り組みは。③がん教育をテーマに教育フォーラムの開催を。  
**A** ①今日的課題に対応できるよう指導の充実に努める。②健康の

重要性の認識、規則正しい生活を送ることが疾病予防につながることを広く啓発する。③検討する。  
**Q** スクールソーシャルワーカーの積極的活用を。  
**A** 社会福祉士の資格を持つ学びアドバイザー配置を府に要望する。  
**Q** 健康長寿のまちづくり  
**A** ①既存の高齢者福祉が今、最適な施策か否か改めて見直すことが必要。②介護サービ

スを利用しない元気な高齢者への奨励として健康保持支援システムの導入を。③介護支援ボランティア制度の導入を。  
**A** ①来年度策定する第6次高齢者保健福祉計画の審議会で議論を深める。②③研究する。  
**Q** 女性の健康支援  
**A** 女性専門外来の設置を。  
**A** 実現性を府に相談